

東京都歴史教育研究会会員 各位

東京都歴史教育研究会会長 三藤 政義
(東京都立向丘高等学校長)
東京都歴史教育研究会講演委員長 鈴木 祐至
(東京都立武蔵野北高等学校長)

令和7年度 東京都歴史教育研究会秋季講演会のご案内

秋涼の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本研究会の活動にご協力ご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり開催いたします。校務ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願いかたがたご案内申し上げます。

記

1 日 時 令和7年11月29日(土) 14時半から16時半まで

2 会 場 東京都立向丘高等学校(文京区1-11-18)
アクセス 東京メトロ南北線「本駒込駅」徒歩5分、都営三田線「白山駅」徒歩7分

3 内 容

(1) 講 師 加藤 喜之 氏(立教大学 文学部 教授)

1979年生まれ。2013年、プリンストン神学大学院大学博士課程修了(Ph.D取得)。東京基督教大学准教授、ケンブリッジ大学クレア・ホールやロンドン・スクール・オブ・エコノミクスでの客員フェローなどを経て、現職。専門は思想史、宗教学。

著書『記憶と忘却のドイツ宗教改革』(ミネルヴァ書房、2017年)

『ルネサンス・バロックのブックガイド』(工作舎、2019年)

Petrus van Maastricht (1630-1706): Text, Context, and Interpretation (V&R、2020年)

『日本史を宗教で読みなおす』(山川出版、2025年)

『福音派—終末論に引き裂かれるアメリカ社会』(中公新書、2025年)

(2) 演 題 「歴史総合と宗教—アメリカ社会の分断からグローバル化を考える」

アメリカ社会に大きな影響を与える福音派などを概観し、人種差別、中絶、同性婚、イスラエルとの関係など、現代的諸課題における宗教と政治の交差を取り上げ、カーターからトランプに至る歴代大統領との関係もたどる。とくに「グローバル化」によって加速した価値観の対立や社会の分断を歴史的に位置づけることで、「歴史総合」におけるアメリカ現代史や、生徒に国際理解を促す授業づくりへの示唆を提供する。

(3) 申 込 以下の申込フォームから、当日までにお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/5DUFvM3SgS>

当日は、来場型とZOOMによるライブ配信の予定となっております。

ZOOMの場合は、後日ミーティングIDとパスコードをお送りします。



4 その他

東京都歴史教育研究会は、東京都教育委員会研究推進団体として認定されています。

サービスの取り扱いは、管理職とご相談ください。

【問合せ先】

東京都歴史教育研究会

事務局長 大野 健人(東京都立大泉高等学校)

メール Kento_Oono@education.metro.tokyo.jp

電 話 03(3924)0318